

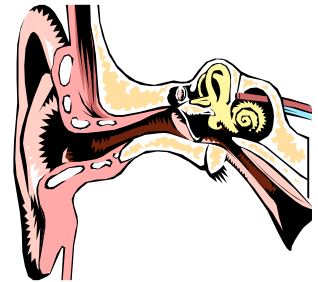
聴力は失うと決して取り戻す事はできません

聴力は老化により65歳で約2分の1を失うと言われています。しかし、騒音により聴力損失が加速されます。聴力損失は他人の言葉を理解する事が出来なくなるだけではなく、肉体的、精神的な負担となり避けなければなりません。

高い騒音レベルは、聴力に永久損失を与えます

高い騒音レベルの原因の例は次のとおりです：

- 機械音
- 電動器具やハンマーによる打撃音
- 流体の噴出
- 大きすぎる音楽

**聴力損失は次の要素に起因し、低減することが必要です**

- 暴露する騒音レベル
- 騒音に暴露する時間

聴力保護具のタイプ

耳栓（イヤープラグ） - 耳の穴に差し込む



イヤーマフ - 耳全体を覆う

安全衛生ルール

- 騒音職場での作業時間を必要最小限とする
- 85デシベル以上の騒音職場では聴力保護具を使用する
- ハンマー、電動工具など衝撃を与える道具を使用する際は聴力保護具を使用する
- 聴力保護具の効果を確実にする
 - 適切にフィットするものを選定する
 - 指定場所では必ず着用する
 - 使用前に毎回点検する
 - 磨耗している、または壊れている聴力保護具は直ちに交換する
 - 清潔に保管する
- 定期的に職場騒音を測定し、異常音は発生源を対策する
- 騒音職場に従事する場合は定期的に聴力検診を受ける